

年間授業計画（令和5年度）

東京都立 東 高等学校

科目（単位数）	公民科 政治経済（2単位）
対象学年・（組・コース）	第3学年 選択（必修）
使用教科書（出版社）	高校 政治経済 新訂版（実教出版）
副教材等	2023 新政治経済資料三訂版（実教出版）・ニューコンパスノート政治・経済（とうほう）・政治経済用語集・用語問題集（清水書院）

学期	学習内容	学習の目標・留意点	学習活動（具体的に） 「読解力」「言語力」 「論理的思考能力」の育成
1学期（26）時間	前半 I 最近の政治・社会・経済問題について グローバル社会 大衆社会 消費社会 高度通信情報社会 地球環境とCOP II SDGs（持続可能な社会の形成）の在り方。	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題を積極的に活用し、新聞記事を読解しながら、教科書に関連付けをさせる。 ・教科書の理解をふかめ、統計資料に親しませる。 ・、NHK特集・時論公論・クローズアップ現代などの視聴覚教材や映像資料、書物などから具体的に考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年代別に資料から社会の変遷を解説させ、国際社会の展望に触れる。 ・最近の政治・社会・経済問題についての特色を新聞記事等から解説し、社会的事象を言語化させる。 ・政治・社会・経済問題について、特にSDGs（持続可能な社会の形成）の視点で考えさせる。
	後半 III 民主主義と政治 ・民主政治の成立 ・国会と選挙 ・行政国家 ・裁判制度 ・圧力団体とメディア ・国民と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の政治制度を比較し、利益誘導型政治からの脱却と政治のありかたを考察させ、日本の現状と課題を考察させる。 ・情報メディアの功罪にも触れる。 ・NPOの役割にも触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通して、世界と日本の政治制度の背景にある人権と民主主義の伝統を比較させる。 ・さまざまメディアの影響を事例として分析し、議論させる。

学期		学習内容	学習の目標・留意点	学習活動（具体的に） 「読解力」「言語力」 「論理的思考能力」の育成
2 学期 (28) 時間	前半	IV 国民経済 (理論と歴史) ・経済主体と経済循環 ミクロ ・市場と企業 ・株式会社 ・寡占と独占 ・広告と商品開発 マクロ ・国民所得の三面等価 ・景気と金融政策	・国民経済の重要性を具体的に意識させる。 ・日本と世界の企業運営を学び、株式会社の発達と市場の状況を具体的な企業活動について広告等を通して関心をもたせ、幅広く理解させる。 ・各国の経済運営について触れながら、経済活動の目的を理解させる。	・経済理論ではグラフを用いて経済主体の行動を論理的に推測させる。 ・新聞記事を用いて事例研究を行い、「政策を立案」させ、議論する。 ・資料集を活用し、将来の職業選択にむけた業界研究ができるよう、項目を挙げてまとめさせる。
	後半	V 経済と産業 (現状と課題) ・日本の人口と産業 ・食料・資源・エネルギー問題 ・労働と社会保障 ・消費者問題と公害、特に4大公害訴訟、水俣病問題。 ・都市と農村	・日本の経済的現状を人口構造や産業構造と関連づけて学習させる。 ・日本経済の課題を確認し、解決方法について、具体的に考察する ・新聞記事や資料から食料と農業の将来を考察する。	・産業・業界研究の成果について考えさせる。 ・統計や新聞記事を通して問題点を認識させ、言語化、解決方法を議論させる。 ・水俣病問題などを通して具体的な事例を通じて、社会的事象に関心をもたせる。
3 学期 (16) 時間		VI 環境と政治・経済 ・科学技術と人類社会 ・生命倫理・環境倫理 ・情報社会のゆくえ	・環境や生命をめぐる問題について、事例を通して、考察を深めさせる。 ・地球時代の情報通信ネットワークの可能性と功罪に留意する。	・現代社会の課題について具体的に考察し、自分なりの解決方法を論述させる。

評価の観点・視点

授業中のノートや作業・課題の取り組み態度などの授業態度（15%）、定期考査（70%）、プリント類などの各種提出物（15%）を中心に、総合的に評価する。